

事務事業名		退職被保険者等療養費給付事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	16370	国保(事業)	2	1	4	退職被保険者等療養費給付費				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和59年度～ 年度		根拠法令 条例等	国民健康保険法				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業					
	事業区分		任意的事業・義務的事業		義務的事業					
	事業区分		実施方法		一部委託					
事業区分		事業分類		現金・現物給付事業						
事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし						
事業区分		市長マニフェスト		該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
国民健康保険被保険者のうち、被用者年金各法に基づく老齢または退職を支給事由とする年金給付を受ける者である、被保険者の期間等が20年以上であるか、または40歳に達した月以降の被保険者の期間等が10年以上である者の疾病及び負傷に関して、被保険者証の提出ができないために療養の給付が受けられなかった場合や、コルセット等の治療用器具代、あんま、はり、きゅう、マッサージ師の施術を医師の同意を得て受けた場合など、医療費用全額を自己負担した場合に、事後において申請により現金をもって被保険者に保険者負担分を支払う事業です。				左記に同じです。							
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)				
延べ給付件数		件	635	605	580						
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
国民健康保険退職被保険者(医療機関等)				対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
退職被保険者数(年度平均)				人	1,846	1,568	1,300				
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
必要な医療が受けられ、健康な生活が送れるようにします。また、通常医療サービスの現物給付を受ける退職被保険者との公平、均衡を図ります。				成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
1件当り給付額				円	6,101	6,099	6,707				
1人当り給付額				円	2,099	2,353	2,992				
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。				上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
1人当たりの医療費の伸び率				%	3.7	1.5	2.8				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	3,107	2,878	1,818			
	一般財源	千円	767	812	2,072			
	事業費計(A)	千円	3,874	3,690	3,890	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	負担金	千円	3,874	3,690	3,890			
	人件費	千円	1,401	1,419	1,419	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,275	5,109	5,309	0	0		

事務事業名	退職被保険者等療養費給付事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和59年10月1日の「健康保険法の一部を改正する法律」の施行により退職者医療制度が導入され、開始しました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	導入当初の給付に伴う自己負担割合は、1割でしたが、昭和61年度から退職者本人については、2割、その被扶養者については、入院2割、外来3割となり、平成14年改正において、一部を除き、3割負担に統一されました。また、平成20年4月から64歳までの方となりました。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各医療保険制度間の負担の公平や給付の平等化という面から意義は大きいですが、給付に伴う自己負担割合が3割負担に統一されたことにより、被保険者が「退職者」の適用を受ける意味合いが薄れ、「一般」から「退職」への切り替えの届出が負担となっているとの意見もあります。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	一部負担金を支払うことにより保険給付を受けられ、国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けることができるという目的に結びついています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	国民健康保険法第36条に「市町村及び組合(保険者)は、被保険者の疾病及び負傷に関して療養の給付をおこなう」と規定されている法定事務で、市が行わなければならないとありますが、給付にあたって、事務の一部を国民健康保険連合会に委託しています。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	保険者が被保険者の疾病、負傷に関して必要な給付を行うといった国民健康保険の目的に基づいて行われている事務で、対象と意図は合っています。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	法令で定められた給付を行うもので、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	診療報酬給付相応の負担金の支出のため、裁量の余地はありません。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	支払を受けるための原資である国民健康保険税や保険医療機関で支払う自己負担金の一部が受益者負担となっていますが、国民健康保険税率は医療給付の需要額に応じて、見直す必要はあると考えます。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できませんが、平成27年4月1日から新規での退職者本人の制度適用がなくなり、被扶養者と平成27年3月31日以前に遡及する本人の適用のみの制度となりました。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			